

手をたずさえて

“富中PRIDE”～自信と誇り～

自ら学ぶ生徒
正しく行動する生徒
健康でたくましい生徒



平成31年4月8日(月)発行

【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

総勢54名の平成31年度・令和元年度富中教職員です！



平成31年度・令和元年度は新たに15名の先生方をお迎えし、総勢54名からなる新たな教職員組織で学校が始動しました。

「生徒の最大の教育環境は、我々“教師”である」という認識を強く持ち、教職員の協力体制を大切にしながら、『富中PRIDE』の理念(思い)を共有して、学校としての一体感を作り上げていきたいと考えています。今年度1年間よろしくお祈りします。

No	役職等	氏名	担当教科、部活動等	No	役職等	氏名	担当教科、部活動等
1	校長	熊坂 洋		第 3 学 年			
2	教頭	高橋 宏信	2年数学	29	主任	志田 保宏	3年社会、男子卓球
3	教務主任	鈴木 克仁	3年数学、剣道	30	1組担任	吉田 孝弘	1・3年英語、女子バレー
4	教務	塚原 雅也	1年男子・2・3年女子保体、剣道、PTA	31	2組担任	菊地裕美子	1・3年英語、女子テニス
第 1 学 年				32	3組担任	笠井 麻由	1・3年美術、美術
5	主任	白石田洋子	1年国語、男子テニス	33	4組担任	鈴木 美妃	2・3年英語、女子卓球
6	1組担任	鈴木 庸一	1年国語、野球	34	5組担任	山口 晃	3年理科、男子テニス
7	2組担任	大浦咲友子	1・3年理科、科学	35	6組担任	高木さおり	2・3年国語、家庭科
8	3組担任	栃沢由紀子	1・2年美術、美術	36	7組担任	齋藤 司	研修主任、2・3年国語、男子テニス
9	4組担任	山川 晃広	1・3年理科、女子バスケ	37	副担任	吉田 悟	進路指導主事、全技術、野球
10	5組担任	大森さとみ	保健主事、1年女子保体、女子バスケ	38	副担任	水野 英暢	2・3年女子保体、陸上、特設水泳
11	6組担任	T1曾根幹二	1年数学、男子バスケ	39	副担任	矢吹 友紀	1・3年男子保体、陸上、特設水泳
12		T2市橋保司	1・2年理科、サッカー	40	えのき2	井野 政暁	特別支援、男子卓球
13	7組担任	松本由里子	1年英語、女子テニス	41	初任研	志村 隆弘	初任研修コーディネーター
14	8組担任	伊藤 真一	1年数学、女子卓球	42	養護教諭	藤川 道代	
15	副担任	富田 修	1年社会、情報処理	43	主査	鈴木 靖三	
16	副担任	三部まゆみ	1・3年音楽、吹奏楽、合唱	44	主事	古川 幸子	
17	えのき1	長谷川光恵	特別支援、合唱	45	用務員	古川 昇	
第 2 学 年				46	学校司書	佐藤絵理香	
18	主任	大竹 英樹	2・3年社会、サッカー	47	特別支援教育補助員	渡部 京子	
19	1組担任	國分 聡	2・3年数学、男子バスケ	48	特別支援教育補助員	柳沼 智恵	
20	2組担任	大橋加奈子	全家庭、陸上	49	N T	ミッチ・マズデン	
21	3組担任	大越ひとみ	2年国語、家庭科	50	S C	岩崎生世子	
22	4組担任	田崎 慎也	2年理科、女子テニス	51	配膳員	木戸 明子	
23	5組担任	白石 博美	2・3年音楽、合唱、吹奏楽	52	配膳員	三瓶 美香	
24	6組担任	佐藤 真理	1・2年社会、男子卓球	53	待機配膳員	大内美佳子	
25	7組担任	先崎 裕	2・3年数学、女子バレー	54	充指導主事	有賀 裕子	県特別支援教育センター勤務
26	副担任	鈴木 薫	2年英語、吹奏楽				
27	副担任	諸越 正直	生徒指導主事、1・2年男子保体、野球				
28	けやき	松田 英治	特別支援、サッカー				

◆ 1年6組は曾根先生が新採用のため、T2として市橋先生が入る担任2人制をとります。同じ新採用の2年4組担任の田崎先生は、講師としての担任経験が複数年あるため単独としました。

1人の教科担当が複数の学年を担当する“縦持ち”にして、各教科の連続性やつながりを大切にしたい教科指導を進めていきます！

“己の欲せざる所、人に施すことなかれ”

～第1学期始業式
校長式辞より～

今から2500年ほど前、中国に「孔子」という人物がいました。儒教を開いたこの孔子の言葉をまとめた『論語』は、今でも“生きた道徳”として多くの人々に親しまれています。

ある日、弟子の一人が、孔子にこう尋ねました。

「先生、人間関係の中で一番大切なことは何でしょうか？人間が一生涯これだけは努力する。これだけは守っていかなければならないことを、一言で言ったら、どういう言葉になるでしょうか？」

孔子は、こう答えました。

「一言で言えば、それは“思いやり”だな」と。

さらに弟子はこう尋ねました。

「先生、思いやりと言われても、よく分かりません。“思いやり”というのは、具体的にはどうすることでしょうか？」

そこで、孔子が言った言葉が、これです。

「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」

これは、「自分がしてほしくないことは、人にしてはいけない」、言い換えれば、「自分が嫌なことは、人にはしない」という意味です。

2500年も前のこの言葉が、現代でも生きています。生きていばかりか、ますます大切になっていると思います。

この孔子の言葉を踏まえて、次の言葉を見てください。

元中学校体育教師で、スキーでの大けがを克服し、『命の授業』と題する講演活動を続けている腰塚優人(しずか はゆ)さんの『5つの誓い』という作品です。

口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。

耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。

目は、人のよいところを見るために使おう。

手足は、人を助けるために使おう。

心は、人の痛みがわかるために使おう。

孔子

紀元前551
～紀元前479

中国で史上最高の聖人と呼ばれている。古代中国の思想家で礼と仁、考と忠を軸とした政治を理想とし諸国をめぐり、その後は教育と著述に専念した。彼の思想と言行をまとめた『論語』は、日本にも伝わり、日本の政治にも大きな影響を与えた。

「過ぎたるは猶お及ばざるがごとし」「義を見て為ざるは、勇なきなり」など数多くの名言を残しており、

現在でも、

『論語』を熱心に教えている学校も多い。



このような行為がひとつでも多くできれば、“思いやり”に繋がるのではないのでしょうか。

本校の教育理念に『富中プライド』という言葉掲げています。何度か同じ話をしていますが、もう一度ここで確認しておきます。様々な大会やコンクール等において上位入賞することだけが『富中プライド』につながっているではありません。『富中プライド』の基本にあるのは、「挨拶がしっかりできる」、「手を抜かずに清掃に取り組む」、「授業を真剣に受ける」、「善悪の判断をしっかりとつけ正しい行動ができる」、そして、「他を思いやることができる」など、規律ある安定した生活であるということです。これらの基本ができていて成績が伴えば、いや成績が伴わなくとも、その人や集団は周囲の人々により心から讃えられる存在になれるのではないのでしょうか。

まずは当たり前のことを当たり前でできる人間になりましょう。

終わりになりますが、この後の入学式では、228名の生徒が入学します。きみたちも経験して分かると思いますが、新入生は不安と期待で胸がいっぱいだと思います。どちらかという不安の方が大きいかもかもしれません。きみたちには、その新入生たちを温かく迎えてほしいと思います。そして、様々な面でよき見本、よき先輩であってほしいと思います。

生徒のきみたちと教職員とが、ともに手を携えながら、今まで以上に、真の意味での『富中プライド』に満ちた、すばらしい富田中学校を築き上げましょう。

